

「市政報告とまちづくり懇談会」 市長回答要旨

6月8日（水） 味岡市民センター

※会の中で紹介した意見、市長回答をまとめたものです。市長回答は一部要約しています。

※回答は、市政報告会実施日時点のものであり、現在の状況と異なる場合があります。

番号	1	意見	今は小牧駅行になっているが、市民病院行にならないか？	都市整備課
番号	2	意見	名鉄小牧線田県神社前駅から、犬山線石仏、江南、犬山駅などと直通で結ぶ路線をぜひ創設してほしいです。犬山市、大口町などと連携してください。	都市整備課
回答要旨	皆様のご意見、ご要望、そして皆様にご利用いただいている実態を調査させていただいて、皆様のご要望に沿うようにと路線を引いております。 私が平成23年に就任する前は、市内の巡回バス網というのは8路線しかありませんでした。それも2時間に一本程度しかなかったです。しかし、全ての市民のご自宅から半径500メートル以内に必ず一つバスを置いていこう、そして、1時間に一本バスを走らせようということを、基本的な考え方として整備して参りました。 今23路線あり、できる限りご要望にお応えしたいのですが、皆さんの行き先や、使い方は違いますので、効率的に回そうということを進めております。 一周を1時間で回そうということがあって、長く路線を取れば、当然全体が変わってきます。そのため、今のご要望について、すぐに確かなこと言いませんが、そういったご要望が強い場合は、乗車数などの状況を見て、変えられるところは変えています。 令和4年3月にも一部見直しをしましたが、大規模な改修というのは数年に1回やっていき、細かいところの調整は随時やっていきたいと思っております。 ご要望の趣旨は、しっかりと担当課と共有させていただいて検討しますので、すぐやりますとは言いませんが、そういうご意見をいただきながらですね、随時見直していきたいと思っております。 それから、市外との連携ということですが、たまにご要望をいただきます。当然ながら他市の状況、声も聞きながら、他の市長さん町長さんとはご相談をしていくことになりますけれども、現時点ではそういった予定がございません。 他市町まで行って戻ってくるとなると、長い距離になり、他のところをおろそかにせざるをえないというもありますので、全体の運航の中で、そこのニーズが強ければ、みんなが行きたいと思っているところであれば、繋いでいくということになると思いますが、おそらく今の状況ですと、なかなか難しいとは思いますが、 ただ、お互いの市町の中で、乗り換えポイントを作るとかそういったことは、できるかなと思います。色々な可能性がありますので、研究をしていかなければいけないと思っておりますが、いずれにしても先ほどの答えと同じで、多くの皆さんからそういったニーズがあって、必要だということであれば市としては当然ながら、それを受けとめて考えさせていただいて、必要であれば他市町ともご相談をして、実現に向けて動いていくということになるかと思っております。 現状では、皆さんが病院に行きたいとか買い物に行きたいとか公共施設に行きたいとか、色々なニーズを踏まえて、今この路線を作っております。 基本的にはあまり長くない路線、1時間で回れる路線で、乗り換えの不便を取るか、或いは直接行ける利便性を取るかですが、皆さんの声を聞きながら、この辺りのバランスをとり、効率的な運航をしていきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。ただ、ご意見はお寄せください。それを踏まえて今後の見直しに役立てていきます。			

番号	3	意見	春日井市は西尾地区に既に開園している。検討に入ったのは小牧市よりも遅かった。何がネックになっているのか？検討段階は既に経っているのに実施が遅いのではないかと？四季の森と共存し、東部の開発に力を入れていただきたいと思います。	農政課
回答要旨	農業公園につきましては、私が就任する以前から、長年の計画であります。この農業公園というのは、三重のもくもくファームのようなイメージで、2000円、3000円と入場料を取って、体験するような体験型の農業公園という計画でありました。 ただ、私はなかなか厳しいのではないかと思います、また、かなり予算もかかる計画でしたので、見直しますよということも、公約の一つに掲げて、当選させていただきました。 見直しを進めて参りまして、まずは農業公園の当初の広がった用地の面積を減らしました。 そして、検討委員会で改めてどういう公園が望ましいかということを検討しました。地元の皆さんのご理解ご協力をいただいて農業公園として使うため用地を確保しておりましたし、農業者の期待もある。また、食育とか、農業振興も大事ということもありましたので、全く作らないということではなくて、縮小はするけれど、こういった農業公園がふさわしいかという議論をずっとやっていただいて参りました。 その上で、新しい計画を作りました。これが令和元年のことであり、基本設計、実施設計、そして来年度の造成開始というスケジュールで進んでいるところでありますので、遅いのではないかと言われれば、見直しをして、こういった経緯で進めていますということで、ご理解をいただきたいと思っております。 農業公園につきましては、令和5年に造成工事開始して、令和6年、再来年の10月に、一部供用開始ということで、計画が決定しまして、今設計中でありますので、速やかに進めて参りたいと思います。 新たな東部振興構想もできましたので、そういった中で、特に小牧の住民の皆さん方が、農業に親しむ、そして、子供たちも食育を自ら体験して、こういった場で勉強できる、こういったこともやれるようにしていきたいと思っております。			

番号	4	意見	本市は全国でも約70団体しかない不公付団体と思います。財政状態がよく誇らしいことですが、①そのメリットは何でしょうか。②仮にコロナ禍で、企業業績が悪化し税収が減った場合に、市の行う事業に影響はありますか。	財政課
回答要旨	不交付団体は、年によって違いますが、全国で70くらいしかないというのは事実であります。 その多くが原発の立地自治体だとか、そういった別財源を持っている自治体が多いわけで、産業が豊かで、自主財源があって、国の交付税をもらわなくてやっていける団体というのは、非常に少ない。愛知県がほとんどでありまして、愛知は産業県だと。この尾張の中では、小牧、或いはお隣の大口町、豊山町ぐらいではないかと思います。 おかげさまで、小牧は先人たちが、先見の明があり、ご努力いただいて、今日の産業都市小牧を築いてきていただきました。 交付税措置を受けないメリットは、自由度があるってことです。まちづくりに対して自由度がある、自主財源があるということは、他の市町にはないサービスが展開できる。 小牧独自の市民サービスはいっぱいあります。 市民の皆さん方は当たり前のように感じられるかもしれませんが、他市町に住んでみればわかりますが、小牧にはあったけれども他のまちに住んだら、当たり前だと思っていたことが何もないということは、たくさんあると思います。 健康づくりの健診制度の補助もそうでありますし、巡回バスも全国でこんなに充実しているまちはないと思います。 15万市民で23路線をもって、1時間に一本走っているまちはないです。 これ全部、小牧が自分の財源だからでき、国の財源をもらうならできません。 そういう意味では、小牧が独自に自分たちに合ったサービス、色々な事業を展開していけるというのは、不交付団体のやっぱり強みだろうというふうに思っていますし、これからも小牧がそういったまちであり続けるということを目指していかなければいけないと思います。 ただ、最近、不交付団体であることのデメリットもありまして、例えば、幼保の無償化ですとか国が色々な施策を打ち出しますが、その財源がいわゆる交付税措置です。 色々なことを国は言っていますが、最終的に全て交付税の算定基準に入れて交付税措置しますということで、不交付団体まで含めてお金を配るわけではないです。 だから、国は制度を作って、ほとんどの自治体には国から予算がおりてきますが、小牧市にはおりてこないということでございますので、そういう意味では非常に苦しいです。 最近、そういうことが非常に増えていますので、ますます財政を圧迫していますので、国に対しては、国が制度を作って、事業をやる場合は、不交付団体まで含めて、財政措置をしてくださいということを毎回要望しておりますが、なかなか聞いてもらえないということでございます。			

番号	5	意見	9～16時頃までの行動で、お茶や食事の費用が補助の対象外はなぜ。その時間になれば昼の食事は必要のはず（活性化のためにも）	文化・スポーツ課
番号	6	意見	3 あい事業に対する補助金が食事代等減額されているが、行動が制限されつつ有り。	文化・スポーツ課
回答要旨	基本的には、市の税金から支出をするもので、原則として飲食に使うっていうものは、今ありません。多分どこの市町でも、基本は駄目だということになっていると思います。 ただ、老人クラブもそうですし、地域協議会もそうですが、私としては活動の中で、全体の皆さんの事業の目的に沿う形で、必要であれば、私は認めてもいいのではないかとということを、庁内では議論をさせていただいていますが、基本的には、それぞれの皆さん方が飲んだり、食べたりするお金は皆さん方がご負担をいただくということです。 飲み食いするために集まったり、飲み食いするためにお金を出したりというのは、市としては難しく、そこに集まって例えば健康づくりやりますよとか、何かしらの事業目的があって、その事業に対しての支出はしますが、やっぱり市民全体に対して責任のある、お金ですから、特定の個人にだけ利益供与があるということは、できるだけ避けなければいけないと思います。 ただこの辺りを厳しくすると、活動自体が非常に困難になるという話もありますので、私はバランスをとりながら進めていくことが大事だと思っていますので、こういったご意見も承りながら、今後の皆さんの運営のしやすさとか、色々なことも含めて、ご相談をしながら進めていく必要があると思っています。 議論としては、ご意見承ってですね、今後につなげていきたいと思いますので、今この場でいいですということは言えませんので、ご容赦いただきたいと思います。			

番号	7	意見	最近小牧城が場所によっては城の全体が見える様になっています。小牧城の全体が見える様に、小牧山の大木の剪定を実施して頂くと、市のシンボルの小牧城が市民の目に写るようにしていただきたく、ご検討をお願いします。	小牧山課
回答要旨	小牧山の剪定は本当に、大変です。 基本的には、小牧山は昔の状態を保存するというのが基本です。山全体が国指定史跡ですから、本当に厳しいです。 切っていけないわけではないですが、植えることはできません。 私この前の桜とか紅葉をいっぱい植えましたが、文化庁から怒られてしまいました。今までも桜とか植えてきましたが、規模を大きくやったら怒られてしまいました。 基本的には下の遺構を痛めては駄目だということです。なので、切るのは大丈夫です。 昔、信長とか家康の時代は、ほとんど木はなかったと。 私も本当はもっと切りたいですけど、お金がかかります。あれだけの大木を切ろうとすると、造園業協会に頼んでも切れないです。 あれは、本職の林業の方に頼んで、木を切ってもらおうということをやっています。 だから、例えば何千万の予算をつけても、切れるのが数本というぐらいのお金でやっていますので、一生懸命切っていますが、なかなか目に見えてきません。 山頂に上がって、岐阜城が見えなければおかしいのではないかと話があるので、できるだけこの上の方から眺めをよくするようにとということで、抑えていきたいと思っています。 ですから、特に山頂の方からの眺望は確保できるよう抑えていきたいということで努力をしていますが、何分にも結構お金がかかるので、一気にはなかなかできないということでございます。			

番号	8	意見	もっと詳しく説明下さい。市長は立候補またされますか？	-
回答要旨	今の段階で申し上げることは何もないです。 というのは、3期12年の多選自粛条例の提案をしました。でも否決されて成立しなかったのが12年前の話ですけども、当初から、私は多選には一定の弊害があるから、自粛条例を作って皆さんで共有してきましょうと、多選の弊害というのを訴えてきました。 私が3期でやめるとかやめないという話じゃなくて、一般論として、多選の弊害の議論しようじゃないかということで条例を提案いたしました。 ただそのときに、3期でやめる、或いは4期までやるか、或いは5期か、ここら辺は最終的にその時の判断ですねという議論がありました。 ですから、多選ということについては、一つの判断基準であって、それだけで決めるわけではないということで、小牧の色々な状況があって、状況の中で判断しなければいけないと思っています。 私はですね、今でも多選自粛条例、多選の弊害を訴えたことは私正しいと思っています。ただ、多選自粛条例を訴えたから、3期で絶対やめるよねと言われる方もみえるし、また続けて欲しいと言っていていただく方もみえますけれども、現状では、今の状況をしっかりと見極めながら、小牧のために色々なことをやっています。 ですから、その状況を踏まえて、適切な時期に、私としては総合的に判断をしたいということを申し上げております。昨年6月に市議会で早々とそういうご質問いただきましたので、その時にお答えしておりました、議事録も残っておりますので、現状では、その時にお答えしたことと何ら変わっておりません。 以前からそういう思いで、3期ぐらいかなと思っていますけれども、最終的には、その時その時の市長が、その時の状況で判断をして、最後は市民が判断をすることだと思っていますので、今こういった状況で進めて参りましたが、どこかで判断をさせていただきたいと思っておりますので、お答えになるかどうかわかりませんが、そんな状況でございますので、よろしくお願いします。			